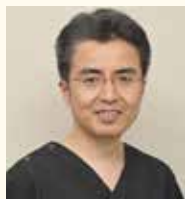


ただの便秘だと思っていないですか？



川崎幸病院
消化器内科部長 / 内視鏡センター長 /
がん治療センター副センター長

大前 芳男（おおまえ よしお） 医師



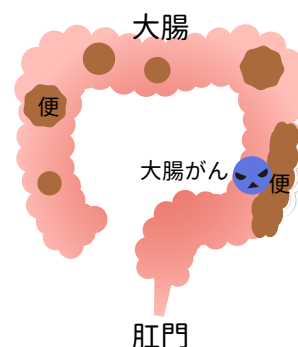
便秘とは

便秘とは、「本来なら体外に排出すべき糞便^{ふんべん}を、十分な量かつ快適に排出できない状態」と定義されています。便が硬くお腹の張りや、便が残る感じがある状態を便秘と言います。

『大腸がん』も便秘の原因

便秘になる原因は、加齢による腸の働きの低下、運動不足、ストレス、食生活の乱れなど様々です。そのうちの一つに大腸がんがあります。“がん”が大きくなり腸管の内腔^{ないくう}（腸の内側の空間）が狭くなると、便が通りにくくなり排便がスムーズに行えなくなるためです。

便秘の症状で原因を特定することは難しいため、まずは大腸内視鏡検査を行い、大腸がんでないことを調べるのが重要です。

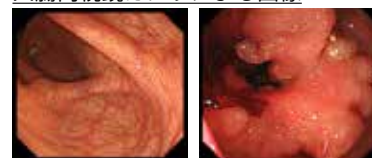


大腸内視鏡検査とは

大腸内視鏡検査は、カメラで腸の粘膜状態や大腸がんの元となる大腸ポリープの有無を直接観察できるため、高い精度で“がん”の診断をすることができます。また、がんやポリープを早期発見した場合、開腹手術ではなく内視鏡で治療を行うことも可能です。

大腸がんがあっても、健診などで行われる便潜血検査で陰性となってしまうことがあるため、「排便が毎日であったのが最近では3日に1回になった」など便の習慣が変わってきたときや、慢性的な便秘にお悩みの方は一度、専門の医師に相談することをおすすめします。

大腸内視鏡カメラによる画像



正常な大腸

大腸がん

診療のご案内



社会医療法人財団 石心会

第二川崎幸クリニック

受診予約 ☎ 044-511-2112

電話予約受付時間

月～金 8:00～20:00 土 8:00～17:00 日 8:30～17:00 祝日 8:30～17:00



YouTube

大前医師による『大腸がん』
についての解説動画を公開中